焼肉用鉄板･金網洗浄機

TK88 型　カバー付き

取　扱　説　明　書

この度は焼肉用鉄板･金網洗浄機をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、この取扱説明書を必ずお読み下さい。

本書の巻頭に記載されている安全に関する警告事項は、製品を使用する前に注意深く読み、正しくお使い下さい。

本書はいつでも使用できるよう大切に保管して下さい

シグナルワードおよび絵表示の説明

◎　シグナルワード

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のシグナルワードで区分・説明します。

危険……「取扱を誤った場合に使用者が、死亡または重傷等を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。

警告……「取扱を誤った場合に使用者が、死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。

注意……「取扱を誤った場合に使用者が、傷害を負う危険が想定される、および物的損害の発生が想定される」内容です。

◎　絵表示

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分・説明します。

……手、足等を挟まれないよう、巻き込まれないよう「**注意**」の内容です。

……身体や髪、衣類等を含め、身に着けているもの等が巻き込まれないよう「**注意**」 の内容です。

……特定の条件において発火の可能性がある「**注意**」の内容です。

……してはいけない「**禁止**」の内容です。

……指定した場所に触れてはいけない「**禁止**」の内容です。

……分解・修理・改造等をしてはいけない「**禁止**」の内容です。

……必ず実行していただく「**強制**」の内容です。

……電源プラグをコンセントから抜いてください。
故障時や落雷の可能性のある場合、電源プラグをコンセントから抜いていただく「**強制**」の内容です。

目　　次

安全のために（必ずお守り下さい）.....1

ご使用前に（設置について）.....4

本体各部の名称・図

ご 使 用 方 法.....5

お手入れの仕方.....8

注 意 点.....9

Q＆A.....10

困った！こんな時（修理を依頼するまえに）.....11

本機サイズ表.....13

《安全のために》 必ずお守り下さい。

(1)《本機について》

この機械は焼肉用鉄板及び金網を洗浄するための機械です。
それ以外のものは洗浄しないで下さい。

危 険
取扱いや使用方法をよく理解されていない人が本機に近づいたり、使用・運転をしないで下さい。 （子供、ペット等動物含む） ※ケガをする恐れがあり、巻き込まれると非常に危険です。

(2)《設置・設置場所について》

設置場所の条件が悪いと事故の原因、または故障あるいは誤作動する事があります。

危 険
取扱いや使用方法を理解されていない人が本機に近づいたり、触ったりできない場所に設置して下さい。 （子供、ペット等動物含む） ※運転中に動作している部分や本体に手や物を入れたり、触れたり、近づいたりするとケガをする恐れがあり、巻き込まれると非常に危険です。

警 告
本機は水平になるよう設置して下さい。 ※水平でない場所に置かれますと本機が倒れてケガをする恐れがあります。

注 意
水、雨、雪等の掛からない場所に設置して下さい。 ※腐食、故障の原因になります。

注 意
本機は振動しますので、壁面やその他の物に接触しないよう設置して下さい。 ※振動が他のものに伝わり、損害が生じる恐れがあります。

(3)《キャスターについて》

キャスターは移動用のためのものです。

それ以外の時はキャスターを固定し、安定した状態にして下さい。

警　告
キャスターを固定するとき、止め具(ストッパー)は確実に掛けて下さい。(P.4　参照) ※キャスターの止め具を掛けないとキャスターが動いて足を挟んだり、ケガをする恐れがあります。

警　告
本体を移動するときは、キャスターに注意して下さい。 ※手や足を挟んだり、ケガをする恐れがあります。

(4)《その他》

警　告
電源プラグは確実に差し込んで下さい。 ※ショートや発火の恐れがあります。

危　険
タンク回転中は危険ですので、確実に静止(停止)するまではタンク等に触れたり、近づかないで下さい。 ※手や身体、髪、衣類等を含め、身に着けているもの等が巻き込まれると、非常に危険です。

注　意
電源プラグやモーター部分に水が掛からないようにして下さい。 ※感電や故障の原因になります。

注　意
絶対に分解・修理、改造等は行わないで下さい。 ※発火したり異常動作してケガをすることがあります。

	危　険
	モーターやベルトの駆動部には触れないで下さい。 ※手を挟む等、巻き込まれケガをする恐れがあります。

	危　険
	お子様や取扱いを理解していない人は本機に絶対に近づいたり、使用・運転をしないで下さい。 ※ケガをする恐れがあり、巻き込まれると非常に危険です。

	危　険
	タンクフタをフタ押えレバーで押えるとき、フタ押えレバーがクランプ板から左右均等(B の位置)に出るようにして下さい。(P.4図-1　参照) ※フタ押えレバーが左右均等でないと、タンク回転中フタ押えレバーが外れ、タンク内の物が飛び出しケガをする恐れがあります。

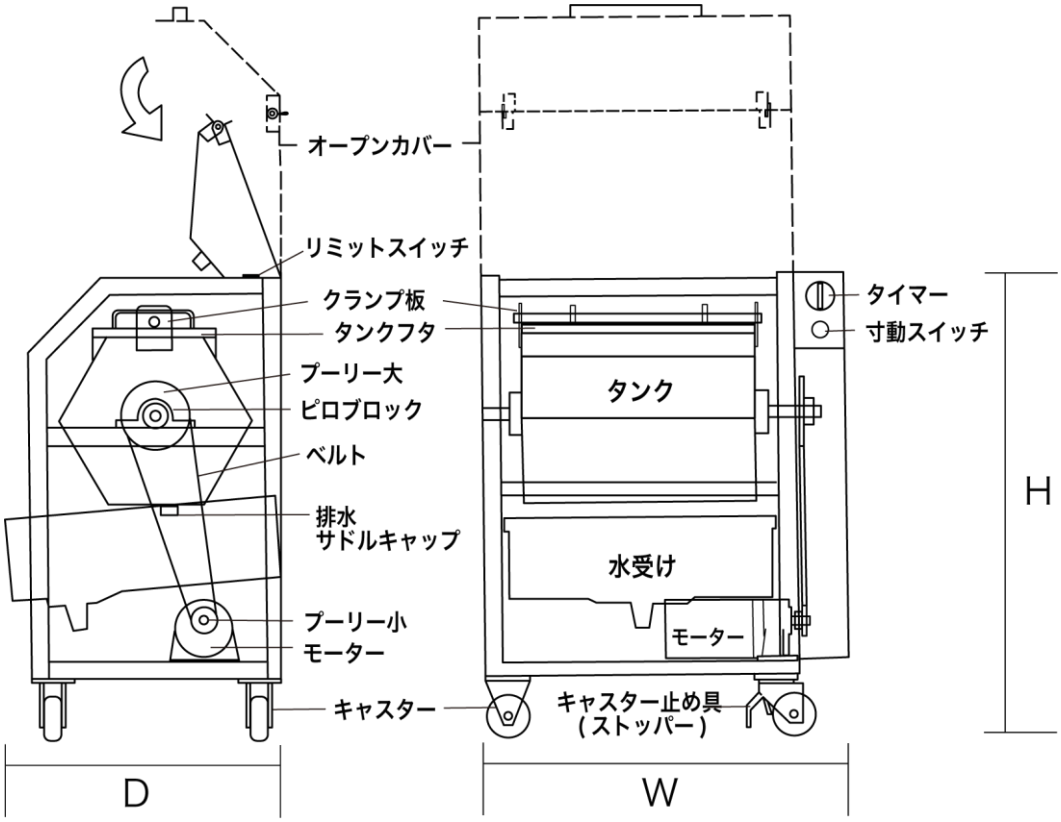
ご使用前に（設置について）

◇ 焼肉用鉄板・金網洗浄機は安定した水平な場所で電源があり、給水、排水が可能な場所に設置して下さい。

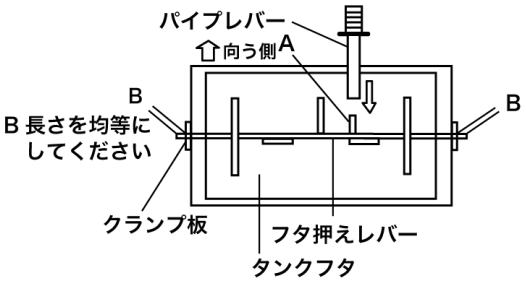
◇ 排水ホースを水受けの凸部の穴の部分に取り付け、排水ができるようにして下さい。（図−3参照）

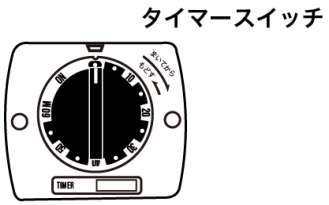
◇ アース線は必ず取り付けて下さい。

各部の名称・図

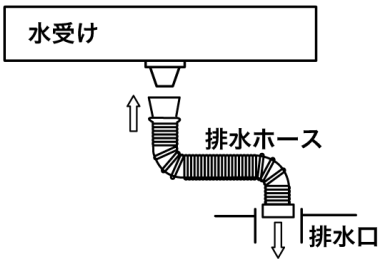


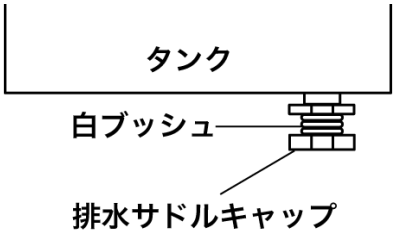
（図－１）　（図－２）





（図－３）　（図－４）





◇ この焼肉用鉄板・金網洗浄機をご使用されるときは、必ずご使用方法をよく読み、ご使用方法の順番どおりに行って下さい。
機械ですので使用方法の順番を間違えたり、順番を変えたりしますと非常に危険な場合があります。

※ 安全のためにも、必ず1から始める習慣をつけましょう

ご 使 用 方 法

1　まず始めに電源プラグがコンセントに差し込まれていない事とタイマースイッチがO(OFF)の位置になっているか確認して下さい。

2　オープンカバーを開けます。

3　パイプレバーをフタ押えレバーのAの部分(P.4図-1　参照)に差し込み、パイプレバーを向う側(後方)に押し、フタ押えレバーをゆるめて外し、タンクフタを取ります。

4　付属品のガラ玉・丸玉をタンク内に入れます。
(ガラ玉・丸玉を入れるのは初めて使用する時、又はガラ玉の入替えや追加時のみです)

5　鉄板または、金網と洗剤を入れます。次にタンクの8分目まで注水します。
※　同時に鉄板と金網を混入して洗浄しないで下さい。
鉄板、金網が変形する恐れがあります。

洗剤は弊社販売の「スーパークリーン」または中性食器洗剤(市販品)をご使用下さい。
洗剤は量が足りていないと鉄板や金網等に油分等が残りますので、洗浄余力がある位の量を入れて下さい。

	注　意
	塩素系・酸素系漂白剤等は大変、危険ですから絶対に使用しないで下さい。(漂白剤入り洗剤にお気を付けください) ※フタを開けたとき洗浄液が噴き出す恐れがあり、人体への被害や物的損害を及ぼす恐れがあります。

6　タンクにタンクフタをのせ、フタ押えレバーをクランプ板の穴に通し、パイプレバーを使って手前に倒しフタを固定させます。(P.4図-1　参照)
(この時、パイプレバーで倒した力で少しタンクが回転しますので注意して下さい)

7　オープンカバーを閉めます。

8　電源プラグをコンセントに差し込んで、タイマースイッチを回します。タイマースイッチ（P.4図-2 参照）を回すと同時にタンクが回転し始めます。

☆時間を設定したい場合

タイマースイッチを右に回し、時間をセットします。
洗浄時間の目安は 40～50 分ですが汚れの落ちが悪い場合はさらに 10 分ほど回して落ち具合を見て下さい。鉄板、金網の形状や焦げ付き具合など、お店によって洗浄時間が違います。

☆連続運転（※1）にしたい場合

タイマースイッチを左に回して ON の位置にセットします。
停止したい場合は0(OFF)の位置に戻します。

（※1）連続運転とは、1 度の洗浄で 60 分以上洗浄したいときの運転を指し、回数の連続ではありません。

9　洗浄が終わりましたら、オープンカバーを開けて下さい。
寸動スイッチを押すとタンクが回転します。寸動スイッチを断続的に押して、タンクのフタを作業しやすい位置にします。

	危　険
	寸動スイッチは通電していれば、常時動かすことが出来ます。 寸動スイッチを使用する時、手などの巻き込みに注意して下さい。 ※手など身体にケガをする恐れがあります。

10 タンクのフタが作業しやすい位置に来ましたら、タイマースイッチを0(OFF)にして必ずコンセントから電源プラグを抜いて下さい。

	危　険
	この時、電源が入った状態（※2）でタイマースイッチが0(OFF)以外の位置にセットされている時に、リミットスイッチに触れると、タンクが回転しますので非常に危険です。（P.9《注意点》参照） ※手や身体、髪、衣類等を含め、身に着けているもの等が巻き込まれると非常に危険です。

（※2）電源が入った状態とは、コンセントに電源プラグが差し込まれて通電している状態の事です。

11 3と同じ要領でフタを開け鉄板または金網を取り出します。取り出した鉄板または金網は水洗いをして、乾燥させ食用油を塗って防錆して下さい。

12 排水はタンク下部の排水サドルキャップをはずして排水して下さい。(P.4図-4 参照)この時、タンク口は閉めないで下さい。タンク口が開いている方が排水が早く済みます。
排水完了後、排水サドルキャップは内側の汚れなどの付着物を洗い流すなどして取り除いた後に取り付けて下さい。

13 使用後、タンクの洗浄をします。
※鉄板または金網やタンクの洗浄後は水と洗剤は毎回新しいものに替えて下さい。
洗浄の仕方はP.8の《お手入れの仕方》を参照して下さい。

14 タンク洗浄後の洗浄水を 12 の要領で排水します。
タンクフタを6の要領で締め、オープンカバーを閉じて作業が完了します。
続けて作業したい場合は(4ははぶく)1から始めます。

《お手入れの仕方》

☆　タンクのお手入れの仕方

● 使用後、タンクの洗浄は毎回行って下さい。
タンクに新しい水と洗剤を入れます。20 分程タンクを回転させれば、タンク内の汚れは落ちます。

注　意
電源プラグ、タイマースイッチ、モーターなど電気系統には水などを掛けないで下さい。 ※ショート、感電の原因になります。

● 洗剤は弊社販売の「スーパークリーン」または中性食器洗剤（市販品）をご使用下さい。洗剤の量が少ないと鉄板や金網等に油分等が残ります。
洗浄余力がある位の量を入れて下さい。

注　意
塩素系・酸素系漂白剤等は大変、危険ですから絶対に使用しないで下さい。（漂白剤入り洗剤にお気を付けください） ※フタを開けたとき洗浄液が噴き出す恐れがあり、人体への被害や物的損害を及ぼす恐れがあります。

☆　本体のお手入れの仕方

● 本体が汚れた時はから拭きして下さい。
● 本体は水洗いしないで下さい。
この機械はタイマースイッチ、モーター、電源プラグなど電気を使用するものが部品として使われております。水を掛けますと故障、漏電、感電などの危険がありますので、絶対に水を掛けないで下さい。

注　意
モーターや駆動している部分に水を掛けないで下さい。 ※故障の原因になります。

《注　意　点》

☆　リミットスイッチについて

タンク回転中にオープンカバーを開けますと、事故防止のためリミットスイッチが作動し、タンクの回転を非常停止させます。
タイマー作動中、オープンカバーを閉めれば、即タンクが回転し始めます。

危　険
電源が入っており、タイマースイッチが0(OFF)以外の所に合わせてある場合、リミットスイッチ(P.4　参照)に触れたり押したり、異物が引っ掛かりますとタンクが回転しますので非常に危険です。 リミットスイッチに触らないで下さい。 ※手や身体、髪、衣類等を含め、身に着けているもの等が巻き込まれると非常に危険です。

《例えば･･･こんなうっかりミスに注意！》

タイマースイッチの時間設定をしていて本機運転中、Aさんはタイマースイッチが0(OFF)になる前にオープンカバーを開け、そのままにしてその場を離れました。
Aさんが戻ってくる前にBさんが来て、洗浄が終わったと思い込み、タイマースイッチの確認をせずに、タンクのフタを外し、鉄板や金網の取り出し作業を始めました。
作業中、何かのはずみでリミットスイッチに触れ、タンクが回転し始めました。
この様なとき、手や身体、髪、衣類等が巻き込まれる可能性があり、非常に危険です。
また、タンクのふたが開いていますので、タンクの中に入っている鉄板や金網、ガラ玉、洗浄水等が飛び出し、人や物に当たり、大変危険です。また、タンクと本体の間に飛び出したものが挟まり、機械の故障等に繋がりますので、くれぐれもご注意下さい。

☆　タンクについて

注　意
タンク内にお湯や熱湯は入れないで下さい。 ※タンク内張りゴムの耐久性が劣化します。

《Q＆A》

Q	汚れ落ちが悪くなったみたい？
A	◎ガラ玉が丸くなったり、小さくなっていませんか？ 三角形のガラ玉が丸くなり、小さくなってきましたら汚れ落ちが悪くなります。 ガラ玉の追加または交換時期です。 新しいガラ玉または丸玉をお買い求め下さい。 ◎ガラ玉が丸くなっていない、小さくなっていなければ、洗浄する時間を増やして下さい。

Q	タンクの口から水が漏れる
A	◎タンクフタはきちんと閉まっていますか？ タンクフタがきちんと閉まっていないと水漏れします。 タンクフタを正しく閉め直して下さい。（P.4 図−1　参照） ◎タンク内張りのゴムが減ってきていませんか？ タンク内張りのゴムが消耗しタンクの交換時です。

Q	タンク内に黒いヘドロ状のものがついてベタベタしている
A	◎洗剤が不足しています。洗剤の量を普段より多めに入れて洗浄して下さい。 洗剤量を増やして戴ければ、必ず解決いたします。 普段から洗浄後に洗浄余力がある位の量を入れて洗浄して下さい。 ◎洗浄後、毎回タンク洗浄を忘れずに行って下さい。

Q	タンクフタをフタ押えレバーがうまく閉めることが出来ない
A	◎タンクフタはきちんとセットされていますか？ 少しでも歪んでいるとうまく閉まりません。 正しくセットして下さい。（P.4 図−1参照）

「困った！」

こんな時（修理を依頼するまえに）

修理やアフターサービスを依頼する前に、次の項目をご確認下さい。

☆　こんな場合

・タイマーをまわしてもタンクが回転しない

◎　確認するところ

（1）コンセントに電源プラグが根元まできちんと差し込んでありますか？
確実に差し込んで下さい。

（2）工事等で停電中ではないですか？
停電が終わるまでお待ち下さい。

（3）オープンカバーが開いていませんか？
オープンカバーが開いていますとリミットスイッチが反応してタンクは回転しません。
オープンカバーを閉めて下さい。

☆　こんな場合

・電源が入った状態（P.6＊2）でタイマーを回したのに、タンクが回転しない

◎　確認するところ

（1）モーターからモーター音が聞こえていますか？

モーター音が聞こえる場合	チェーンのゆるみ、外れが考えられます。 修理を依頼して下さい。
モーター音が聞こえない場合	モーターの寿命または故障です。 モーターを交換して下さい。

（2）モーターから焼けた臭いがしていませんか？
焼けた臭いがしていましたら、モーターの焼損です。
モーターを交換して下さい。

（3）モーターに水を掛けたりしませんでしたか？
この機械は防水モーターを使用していますが完全防水ではありません。
水が入ると一時的に動かない時がありますが、時間が経ち乾燥するとまた動き出します。乾燥しても動かず、ブレーカーが落ちるようでしたら漏電していて危険です。
モーターを交換して下さい。

☆　こんな場合	
・タンク回転中、タンク口から水が漏れる	
◎　確認するところ	（P.5　参照）
（1）タンクとタンクフタはきちんと閉まっていますか？ タンクフタを使用方法の6と（P.4図-1　参照）の要領で締め直して下さい。 それでも水が漏れる場合はタンク内張りゴムが摩耗などにより隙間ができています。 タンクの交換時期です。 タンクを交換して下さい。	

☆　こんな場合	
・タンク回転中、タンク内の音が以前より大きくなってきた	
◎　確認するところ	
（1）タンク内張りのゴムがはがれてきていませんか？ タンク口から水漏れがなければ、そのまま使っていても大丈夫です。 設置場所などによって、あまり音が気になるようであれば、 タンクを交換して下さい。	

☆　こんな場合	
・タンク（外側）に付いている排水口から水が漏れる	
◎　確認するところ	（P.4図-4　参照）
（1）排水サドルキャップはきちんと締まっていますか？ 歪んで締めていると水が漏れます。きちんと締め直して下さい。 （2）白ブッシュ部分のネジ山がつぶれていませんか？ 排水サドルキャップを締めるとき、白ブッシュに対して歪んだまま、無理に締めると白ブッシュのネジ山がつぶれ、そこから水漏れします。白ブッシュを交換して下さい。 念のため、排水サドルキャップ内側のネジ部分がつぶれていないかも確認して下さい。 排水サドルキャップのネジ部分がつぶれていれば、排水サドルキャップも同時に交換して下さい。	

修理、交換を依頼される場合は、タンクに貼ってあるプレートの型式・製造年月・製造番号をお調べの上、お買い上げになられた販売店または弊社にご連絡下さい。

焼肉用鉄板、金網は物理的作用により磨耗、変形、破損することがあります。

・・・・・落雷等の危険があるときは電源プラグはコンセントから抜き去って下さい。

・・・・・地震がありましたら速やかに電源プラグはコンセントから抜き去って下さい。

日本国は地震国です。地震対策は万全にして下さい。

本機サイズ表

型　　式	TK88 型
タンク容量	100ℓ
モ ー タ ー	3 相 200V　0.75kw
正面幅（W）mm	900
奥　行（D）mm	870
高　さ（H）mm	1260
最大高（H）mm	2040 ※3
ガ ラ 玉・丸 玉	ガラ玉×3 箱・丸玉×1 箱

※3 カバーを開けた時の高さ

商品について詳しいことは下記、東洋精機㈱または販売店におたずね下さい	
製造発売元 東洋精機株式会社 三重県桑名市江場貝戸521－7 (TEL)0594-21-5353 (FAX)0594-22-7377	販売店

2023.11